

令和 6 年度 吹田市胃がん検診(胃内視鏡検査)精度管理委員会 要旨

1 開催日時

令和 6 年 12 月 17 日(火) 午後 2 時から午後 3 時まで

2 開催方法

「Zoom ミーティング」を利用した Web と対面開催(事務局:吹田市成人保健課)

3 出席委員

塚原康生 委員 相馬孝 委員 辻井健一 委員 林史郎 委員 水野智恵美 委員
長生幸司 委員 林義人 委員 狭間礼子 委員 川西克幸 委員

4 欠席委員

なし

5 市出席者

健康医療部成人保健課

課長 朴裕輝 主幹 川見知佳 主査 谷内佳代 係員 古賀美寿紀 係員 小矢野葵

6 内容

(1)委員紹介・事務局紹介

(2)委員長の選出

塚原委員に決定。

(3)報告事項

ア 令和 6 年度 吹田市胃がん検診(胃内視鏡検査)実施状況について【資料 1】

イ 令和 5 年度 胃がん検診(胃内視鏡検査)チェックリストについて【資料 2】

ウ 偶発症について

(4) その他意見交換

ア 胃がん検診(内視鏡検査)チェックリストの変更について【資料 3-1・3-2】

事務局

胃がん検診(胃内視鏡検査)の検査医と読影医の資格要件が変更となったため、今年度から医師の保有資格の記入欄をチェックリストに追加している。

イ 胃がん検診(胃内視鏡検査)の今後のあり方について

A 委員

今後、受診者を増やしていく上で、協力医療機関を増やす予定はあるか。

事務局

新規協力医療機関が増えれば、市民の受診しやすさ、利便性がよくなるため、ありがたい話ではある。

B 委員

数は多くないが、新たに開業した医療機関の中で、検診機関となった医療機関もある。基準を満たす医療機関であれば、ぜひ参加いただきたい。

C 委員

吹田市胃がん検診の受診の目標値はあるのか。もう 1 点、食道がん等の他がんの発見率は集計しているのか。

事務局

市のがん検診受診率の目標値は 60%としている。市の対策型検診は、母数を対象年齢の市民全数とするため、受診率が低い状況にはなってしまう。ただ 4 年に 1 回実施している市民意識調査の、がん検診を定期的を受けているかどうかという質問に対して、どのがんも、5 割ぐらいの方が受けている、と回答している。そのため、本市としては、職域や人間ドック等で受ける機会がない市民に、市のがん検診を受けていただき、受診率も上げていきたいところである。

胃以外の悪性疾患の発見率は、集計していないが、胃以外の悪性疾患として、食道がん、食道がん疑い、下咽頭がん、十二指腸乳頭部がんが発見されているという報告をいただいている。今後要望があれば、疾患別集計をお示しすることはできる。

D 委員

吹田市は、茨木市のように、クラウドを利用する方針はないのか。

E 委員

将来的にはクラウドも使う方向で考える必要があるが、クラウドを使用する際のセキュリティなどの問題もあるため、しばらくは現行の体制でいく予定である。

B 委員

医師会の先生、幹部の先生方が骨を折っていただいたおかげで、現在非常に良い形でシステムが確立されている。そして、実際に検診を行う我々にとって、この吹田市の胃がん検診の内視鏡検査は、ルーチンワークになり、非常に慣れたものになっている。検診施設も、吹田市全体に散らばっており、市民にとっていい環境ができ上がっていると感じる。

今後、受診者数を増やすことが非常に重要となってくる。最終的には、レントゲン検査を淘汰し、内視鏡検査だけで実施できれば、一番望むべきことであろうと思う。数を増やすためには、協力医療機関数を増やし、市の方で広報を実施していくことが必要だと思う。

学識経験者から吹田市胃がん検診内視鏡検査について、ご意見とご助言をお願いしたい。

A 委員

この表で、一つの指標として、受診者数が経時的に増えてきているという側面は素晴らしいところだと思う。ある程度年数も経ってきている状況であるため、こういったコロナ渦を経ての受診状況の変化や、受診者のリピート状況などの傾向を見ながら、次の対策や方針を検討していくことも必要。多くのデータが集まってくる中であるため、今後レントゲンの受診状況を含めて解析していくことが重要であると改めて感じた。

受診率を全国的に見ると大阪府の検診の受診率は低いため、その中で吹田市がリードしていくような形になればいいと思う。

— 終了 —